

新型コロナウイルス感染症関係の情報

掲載している情報は今後変わる場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください



行政機関などをかたった「なりすまし」に注意！

「こちらは保健所です。コロナワクチンが接種できます。後から全額返金しますので、お金を振り込んでください」



ワクチン接種は無料です！

「市役所です。コロナワクチンが無料で受けられます。あなたの名前と住所を教えてください」



電話で個人情報を求めることはありません！

「おかしいな」と思ったら、電話をいったん切って相談してください

新型コロナウイルスワクチン詐欺 消費者ホットライン
☎ 0120-797-188

基本的な感染対策を行いましょう

①手洗い、マスクの着用や咳エチケット



②密閉、密集、近距離での会話を避ける



③室内の換気に心掛ける



新型コロナウイルス感染症の相談・受診

発熱などの症状がある場合

①かかりつけ医がある



▶かかりつけ医に電話

②かかりつけ医がない



▶受診・相談センターに電話かファクス（全日、24時間）

☎ 019-651-3175
FAX 019-626-0837

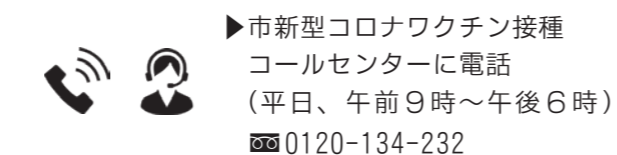
③「かかりつけ医」または「受診・相談センター」の紹介・案内に従い「診療・検査医療機関」を受診する

？ 症状がない場合（全般的な相談）



▶県相談窓口（全日、午前9時～午後9時）
☎ 019-629-6085
FAX 019-626-0837

ワクチン接種の問い合わせ



▶市新型コロナワクチン接種コールセンターに電話（平日、午前9時～午後6時）
☎ 0120-134-232

<今月の表紙>

みんなで楽しむ音楽会第3回リレーコンサート

第3回リレーコンサートは3月14日、感染対策をとった上で、前沢ふれあいセンターで開かれました。幼児から90代までの個人と団体19組が次々と出演し、演奏や歌唱を繰り広げました。長い入院生活を終えた小野寺櫻ちゃん(5)は、雨上がりの空を歌った「にじ」を披露。身振りを交えて「きっと明日はいい天気♪」と元気いっぱいに歌い上げました。



Public Relations Magazine Oshu City

2021.4 Vol.182

広報おうしゅう
令和3年4月号

CONTENTS

- | | | | |
|----|--|----|------------------------------------|
| 2 | キラリ輝く奥州人 | 16 | 医療用ウィッグなどの購入費用を助成します
固定資産のお知らせ |
| 3 | 新型コロナウイルス感染症関係の情報 | 17 | 軽自動車税（種別割）のお知らせ
住宅リフォーム費用を助成します |
| 4 | 3年度施政方針
3年度教育行政方針 | 18 | 街diary |
| 6 | 3年度予算の概要 | 20 | ILC希望のひかり
市長コラム「おうしゅう羅針盤」 |
| 9 | 奥州市国土強靱化地域計画を策定しました | 21 | まなびの里 |
| 10 | 奥州市学校再編計画を策定しました | 22 | もっと安心 ずっとおうしゅう
はい、こちら総合相談室 |
| 11 | 高齢者の相談は地域包括支援センターへ | 23 | 子そだて広場 |
| 12 | ローカル魅力発掘発信ワークショップ | 24 | インフォメーション |
| 14 | 協働のまちづくりアカデミー受講生募集
地域の集会施設整備を補助します | 28 | 奥州遺産 |
| 15 | 市民体育祭の参加者を募集します
いわて奥州きらめきマラソンスピノフイベント | | |



キラリ輝く
奥州人

伊藤 卓哉 さん(43歳)

=江刺田原=

ショウガを 地域の特産に

里山に囲まれた集落、上小田代。ここで栽培されたショウガで「生姜シロップ」は作られる。てんさい糖のやさしい甘みに、ピリツとしたショウガの刺激。栽培から加工を手掛けるのは伊藤卓哉さんだ。米やトマト、キュウリなどを生産する地元の農事組合法人で、ホームページの運営や通信販売を手伝っていた卓哉さん。「自分の好きなものを作ってみよう」と、去年、ショウガの栽培を始めた。試行錯誤の末「しょうがの粉」と「生姜シロップ」を商品化。イン

「生姜シロップ」「すずこま(トマト)シロップ」「すずこま生姜シロップ」を手にする卓哉さん

ターネットや江刺ふるさと市場で販売すると話題となり「しょうがの粉」は完売した。続けて、同法人で生産している「すずこまトマト」を使ったシロップも商品化。「シロップは、お湯割りのほか、ヨーグルトにかけたり、パンに塗って焼いたりするのがおすすめです」と話す。今年3月、これまでの勤め先を辞め、農業に専念する道を選んだ。「多くの人にショウガの商品を手にとってもらい、地域のみんながショウガを作るようになったら」と未来へ種を植え続ける。



いとう・たくや
©昭和53年、江刺生まれ。農事組合法人上小田代(かみこだしろ)商品開発・営業部長。妻と娘の3人家族。商品の詳細などは「北のしょうが屋」サイトから